

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成24年度 第11回理事会 議事録

日時：平成25年1月23日(水) 13:00～16:10

場所：JBAオフィス 8F会議室

出席：＜理事＞

深津泰彦、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、樋口隆之専務理事、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、佐古賢一、佐々木三男、品田奥義、庄司義明、鈴木秀太、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、堀井幹也、水谷豊、吉田長寿、吉田利治の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎の各監事

＜特任委員＞

小倉恭志、片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠席：麻生太郎会長、坂本昌彦、福井晴次の各理事、内山英司、上島正光の各特任委員、山崎均監事

議題

- (1) 会長職務代行について
- (2) 指導における注意喚起について
- (3) 大会要項について
- (4) 国体における参加資格違反について
- (5) 平成25年度女子日本代表活動について

1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(24名)の過半数の出席数(出席:20名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

麻生会長が公務により欠席のため、深津副会長より開会の挨拶があった。

3. 議事

麻生会長が欠席のため、定款に基づき、議長は深津副会長が務めた。

(1) 会長職務代行について (樋口専務理事)

麻生会長の国務大臣就任に伴い、会長職務代行として深津副会長が推薦され、承認された。

＜承認＞

(2) 指導における注意喚起について（堀井理事）

大阪市立桜宮高校での事案を鑑み、JBAとしてバスケットボールの指導において注意喚起を促すため、加盟団体等へ文書での通達を出すことが提案され、承認された。尚、当該指導者の処分等については、大阪市教育委員会等の調査結果をもって改めて理事会にて審議することとした。また、当該競技団体としては、より具体的な対応をするべく、別途協議することとした。

<承認>

(3) 大会要項について（庄司理事）

「第39回全日本クラブ選手権大会」の大会要項が提案され、原案通り承認された。また、あわせて「高松宮記念杯 第45回全日本実業団選手権大会」について、体育館使用料の減免措置を受けるため、共催に石川県協会を追加することが提案され、承認された。

<承認>

(4) 国体における参加資格違反について（品田理事）

第67回国体において、群馬県成年女子の選手に参加資格違反（「ふるさと選手制度」に抵触）があり、日本体育協会から文書による「注意」処分を受けたことが報告された。

これについて厳正に受け止めると同時に、当該団体である群馬県協会に対して戒告処分を科すこと、当該選手は日体協の処分に準じて第68回および第69回大会の参加を認めないこと、全都道府県協会にも注意喚起の文書通達を行うことが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(5) 平成25年度女子日本代表活動について（高橋理事）

平成25年度女子日本代表チームのアシスタントコーチとして、梅寄英毅氏（山梨学院大学）を選任すること、また、ジュニア全カテゴリー（U-16～19）のヘッドコーチとして、一色建志氏（聖カタリナ女子高校）と専任契約を行うことが提案され、原案通り承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) 一般報告（堀井理事）

2012年12月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（堀井理事）

次回第12回理事会は2月13日（水）に開催すること、今年度のチーム加盟・競技者登録状況において競技者登録数が依然として減少傾向にあること、登録者向けサービス向上施策として公式アプリ「みんなでフォトアルバム」の開設などを行ったことなどが報告された。また、1月14日に開催した全国理事長会議の概要が報告された。

(3) 事業戦略部（吉田（長）理事）

2013年度の男女国際親善試合について、FIBA ASIA選手権大会の日程等の変更のため、開催日程の

再検討を行うことが報告された。また、3X3については、今後の国際大会の日程や仕組みなどが報告され、2013年度のFIBA ASIA公式大会に向けて、セレクションや選考合宿などを行う予定であることが報告された。

(4) 新リーグ運営本部（丸尾副会長）

パナソニックの休部、NBL参加見送りに伴う対応について、最終的に和歌山県をフランチャイズとする新規のプロ球団へNBL会員権の譲渡が決定したことが報告された。

また、全国理事長会議の中でも話題となったフランチャイズエリア外での開催（都道府県協会への主管譲渡）に関しての説明があった。

(5) 競技会委員会（庄司理事）

平成25年度の競技日程に一部変更があったこと、第68回国体および第26回都道府県対抗ジュニア大会の大会要項に一部変更があったこと、ウインターカップ2012および第88回天皇杯・第79回皇后杯の大会結果が報告された。

(6) 審判委員会（吉田(利)理事）

1月12日～14日に国際審判員研修会を実施したこと、1月27日～29日にシンガポールで行われるFIBA ASIAコミッショナークリニックに更新者4名、新規1名を派遣する予定であることが報告された。

(7) 女子ナショナル委員会（高橋理事）

7月18日～28日にリトアニアで開催される「第10回FIBA U-19女子世界選手権大会」の組合せ抽選が行われ、日本は、アルゼンチン、スペイン、オーストラリアと同じグループBとなったことが報告された。

(8) テクニカル委員会（佐々木理事）

ブロックエンデバーの開催日程が報告された。また、トップエンデバーやブロックエンデバーを指導者の育成の場としてより効果を上げるため、自費で参加するコーチにはリフレッシュ研修として位置付け、ポイントを付与することが報告された。

(9) 国体委員会（野村理事）

愛媛国体について、会場変更のため追加視察を行ったことが報告された。また、少年種別のU-16化については、1月26日にブロック代表者を1名に絞ったかたちで国体検討会議を開催し、3月の理事会で提案する方向であることが報告された。

(10) 国内競技日程検討委員会（吉田(長)理事）

委員会の進捗状況および3月の理事会において提案する予定で進めていることが報告された。

(11) 東京2020オリンピック・パラリンピック招致関連（吉田(長)理事）

既に報道されている通り、東京オリンピックの立候補ファイルがIOCに提出され、3月にはIOC評価委員が視察に訪れる予定であること、また、その際には各競技団体にも協力が求められており、JBAとしても積極的に協力していく旨が報告された。

(12) WJBL関連（西井特任委員）

第15回Wリーグ(2013-2014シーズン)の日程変更により、変更対象84試合のうち、まだ46試合の開催地が決定していないことが報告され、開催地決定へのさらなる協力が求められた。

(13) 選手登録関連（堀井理事）

帰化選手の登録問題について、前回理事会では前提となるルールや経緯の説明が不十分であったことから、改めて時系列での経過と適用されるFIBAのレギュレーションの内容が報告された。

以上